

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歯科疾患の検査・診断等に関する歯科診療報酬の適正な評価の調査費		担当部局庁	保険局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	医療課		鈴木 康裕	
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・近年の歯科医療は、患者負担の軽減等を念頭に客観的な検査方法等が求められている。例として、平成22年度においては、定量的に咬合及び咀嚼機能の状態を把握することで、従来に比べ有床義歯の調整回数や期間が約半分に短縮できる「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」が先進医療として導入されたところ。今後は、こうした治療回数や治療期間の短縮が期待される検査等を行うことで、患者負担の軽減のみならず、医療費の効率的な活用も期待されている。</p> <p>・このようなニーズを踏まえて、歯科疾患の診断に必要なとされる歯科疾患の検査等の実施状況や診療報酬上の課題等を歯科医療機関及び患者の双方に調査することにより、歯科疾患の検査等に係る技術及び検査後の治療等の適正な評価の検討を行うための基礎資料を得ることを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>歯科医療機関(歯学部・歯科大学附属病院、病院歯科及び歯科診療所)から無作為抽出した6,216施設及びその患者1,402名を対象に、下記の点について調査を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療上必要とされる歯科疾患の検査(歯周組織検査、顎運動機能検査等)内容、頻度及びそれに係る診療報酬上の課題等 ・歯科疾患の検査・診断結果後の治療の実施状況及びその効率性を高めるための診療報酬上の課題等 ・患者の視点に立った、検査等の実施状況への認識や歯科医師等の説明の理解度、満足度等 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					6.155
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	歯科疾患の検査等に係る技術及び検査後の治療等の適正な評価の検討を行うための基礎資料を得ること。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	アンケート調査を実施し、歯科診療所及びその患者のデータを取得。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠	-		
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	調査設計・進捗管理		0.05	平成24年度新規事業のため			
	印刷費		1.2				
	発送費・回収費		3.3				
	検討会経費一式		1.2				
	集計等経費一式		0.659				
	一般管理費		0.533				
	消費税		0.293				
計		6.155					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は、歯科疾患の診療報酬の妥当性を検討するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、歯科疾患の診療報酬の妥当性を検討するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		-	

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	新規登録保険医等への指導教材の作成に要する経費	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	医療課医療指導監査室	宮崎 雅則			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険診療ルールやペナルティをわかりやすくまとめた全国統一の小冊子(保険請求に当たって行ってはならないこと(不当請求等)及び行った場合におけるペナルティを解説した指導教材)を作成し、新規集団指導等の場で新規登録保険医等に周知・配布し、保険制度の意義や自らあるべき行為の姿を訴え、もって、保険診療の質的向上及び適正化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国統一の小冊子(保険請求に当たって行ってはならないこと(不当請求等)及び行った場合におけるペナルティを解説した指導教材)を作成し、新規集団指導等の場で新規登録保険医等に周知・配布する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算					103
		補正予算					
		繰越し等					
		計					103
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	全国統一の指導教材を印刷製本する経費であり、定量的な指標を示すことはできない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	全国統一の指導教材を作成し、新規集団指導等の場で新規登録保険医等に周知・配布する。	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
			—	—	(—)	(—)	
単位当たりコスト	— (円/)	算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	印刷製本費	—	0.929	平成24年度新規事業のため。			
	運搬費	—	0.105				
		—					
		—					
		—					
		—					
計	—	1.034					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、保険診療の質的向上及び適正化を図ることを目的として全国統一の指導教材を作成し新規集団指導等の場で新規登録保険医等に周知・配布する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、新規登録保険医等に対し保険診療のルール等を周知するための教材を作成するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	柔道整復施術療養費の適正化のための調査検討会		担当部局庁	保険局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	医療課		鈴木 康裕	
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「柔道整復師の施術に係る療養費について」 (平成22年5月24日保発0524第2号保険局長通知) 等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために施術者、有識者、保険者などから構成される調査検討会を設置する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために施術者、有識者、保険者などから構成される調査検討会を設置するための経費。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					13.834
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化を調査検討するために設置する調査検討会であることから、定量的な指標を示すことはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化を調査検討した結果が活動指標及び活動実績となる。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	-	6.938	24年度において新規要求のため。			
	委員等旅費	-	5.878				
	庁費	-	1.018				
		-					
		-					
		-					
計	-	13.834					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・ 柔道整復療養費については、平成21年11月に実施された行政刷新会議の事業仕分けの指摘等を踏まえ、平成22年6月に当該療養費の算定基準の見直し等適正化を実施した。今後も審査委員の欠格事由を明確化するなど、選定基準の見直しや指導監査業務の標準化等を推進し、柔道整復療養費の適正化を図る。 また、調査検討会の設置にあたっては、一般競争入札により、適正、かつ効率的な予算執行に努めていくこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、柔道整復施術療養費の多部位請求等の適正化のため調査・検討を行うための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	-		

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					